

浪速少年院創立100周年を 迎えるにあたって

浪速少年院 院長 倉繁 英樹

皆様方には、平素から当院の運営及び教育活動全般にわたって御理解と御支援をいただき、厚く御礼申し上げます。

さて、大正12年に開庁した当院は、令和5年5月5日をもって、創立100周年を迎えることとなりました。

当院は開庁以降ずっと、ここ茨木市郡山の地(創立当初の地名は大坂府三島郡春日村)において、非行少年の改善更生と社会復帰に向けた活動に取り組んできました。東京都八王子市にある多摩少年院と並んで、我が国で最初に設立された少年院である当院が歩んできた歳月は、日本の少年矯正が歩んできた100年であり、ここ茨木は、西日本の少年矯正発祥の地といつことになりました。

当院の開庁から100年の間、当院に収容される少年の状況は大きく様変わりしました。新たに当院へ収容される少年の数は、第二次世界大戦期のピーク時には年間1300人を超えていましたが、平成20年代後半以降は減少傾向が続き、近年では年間数十名程度で推移しています。また、収容される少年の非行の内容も、長年、窃盗や傷害事案が上位を占めてきたものが、近年では、いわゆる「受け子」と呼ばれる形で詐欺グループ

プに加担した事案や薬物事案を原因とする収容が増加しており、特に大麻取締法違反については、5年前の5倍以上にも上っています。

ソーシャルメディアの普及、家族や人間関係の在り方の変化などといった社会情勢の移り変わりを背景として、少年たちを取り巻く状況も、非行の態様も、個々の少年の抱える、非行に結びつく問題性の傾向も、常に変化を続けています。

こういった少年の様々な変化に対し、少年院における在院者への働き掛けについても、種々の見直しに加えられています。近年では平成27年6月の少年院法改正によって、従来の矯正教育に加え、就労支援や修学支援といった社会復帰支援がもう一つの大きな「柱」であるとして明確に位置付けられました。また、令和4年4月から、民法上の成年年齢が18歳に引き下げられたことを踏まえて、18歳以上の特定少年には、「大人」としての自覚と責任感、社会生活に必要な知識の付与といった点も求められるようになっていきます。

しかし、時代が変わっても、少年院の職員が持つべき少年への基本の姿勢は変わるところはありません。浪速少年院第3代院長内丸廉は、職員が在院者と関わる上での基本的な姿勢について、少年の



声にならない声をもしっかりと聞くとともに、「手塩に掛けることである。」と述べています。当院においては、引き続き茨木市更生保護推進協議会を始めとする地域の皆様方の御協力を得ながら、変わり続ける少年と、それに対して求められる役割の変化に対応し、再犯・再非行を防止して安心できる社会を実現するべく、当面する課題への挑戦を続けます。また、この先100年も少年矯正を託されるにふさわしいと認められる施設を目指して、引き続き少年の社会復帰に向けた教育・支援活動に努めてまいります。

今後一層の御理解と御支援を賜りますよう、よろしくお願いいたします。

矯正展は新型コロナウイルスの影響により中止が続き久しぶりの実施となりました。現在所属している会員で前回の矯正展に参加した会員がほとんど居らず、私自身も参加したことがなかったため、どのような雰囲気なのか分からないまま当日を迎えましたが、想像以上に来場者が多く、私たち茨木BBS会の間違ひ探しブースにも西口合わせて約100名の方が立ち寄りくださいました。



矯正展は新型コロナウイルスの影響により中止が続き久しぶりの実施となりました。現在所属している会員で前回の矯正展に参加した会員がほとんど居らず、私自身も参加したことがなかったため、どのような雰囲気なのか分からないまま当日を迎えましたが、想像以上に来場者が多く、私たち茨木BBS会の間違ひ探しブースにも西口合わせて約100名の方が立ち寄りくださいました。

保護司奮闘記

第7回



保護司 久保 博

新型コロナウイルス感染症が猛威を振るっていた令和2年5月に保護司を拝命し、3年目となりました。

これまでに関わった二人の対象者についてです。一人は、成人Aさんです。もう一人は、少年Bさんです。

毎月2回実施している面接に際しては、更生保護サポートセンターの相談室を利用しています。30分ほどの面接時間ですが、面接の際に気をつけていることが3点あります。

一つ目は、対象者がどんな気持ちで話をしているか、どんな精神状態なのかを見極める。

二つ目は、聞く内容はポイントを絞って整理しておく。三つ目は、面接中はメモを取らずに面接後に内容を簡潔にノートに整理する。

とは言っても、毎回の面接の内容は、本人や家族のこと、仕事や生活の様子、または世間話であったりします。出来るだけ対象者が話す時間を増やし、こちらは傾聴することを心がけています。

面接の回数を重ねる毎に人柄や心情がわかってきました。Aさんと出会った頃、就職活動に苦労さ

れていましたが、紹介できるところを探し無事就職することができました。休日は家族と共に過ごす話を聞かせてくれました。こんな人柄の良い彼が犯罪を起こしてしまったことに切なさを感じます。

また、Bさんは将来やりたいことがはっきり見えていて、そのための努力もできる人でした。今後いろいろなたとの出会いや経験をして人間としての成長を期待したいです。

今後人と人との心のつながりを大切に、対象者はもちろん、家族や関係者の皆さんとともに接していきたいと思っています。



保護司 福元 康行

平成17年1月25日付で保護司を拝命し、8枚目の再任辞令を頂き、18年目に突入しました。応嘱のきっかけは、当時保護司をしておられた府庁勤務の先輩から「あなた

の住まいの地区の保護司に欠員ができたので、やってみないか。」とお誘いがあり、興味半分で承諾したのです。その時の説明では、「土、日の休みに対象者と面談するだけで良い。保護司会の定例会が月に一回あるので、それだけは出ておいた方が良い。」とのこと

で、そう大変な事でもないと思って引き受けたのでした。初任者研修時に講師から制度の詳細や取り組み事例を聞き、これは大変な仕事を引き受けてしまったと思ったのも後の祭りでした。

就任して数か月は事案を持つことはなかったのですが、五月月ほど経った頃に初めての事案を担当することとなり、緊張しながらの初回面接、対象者は真面目な少年で、保護者も協力的で、相手への被害弁償も示談で解決しており、一年弱で解除になったと記憶しています。

その後、交通事故の短期、窃盗事件の少年を数件、成人では賭け事にはまってお金を横領した件など多くの事案を担当させていただきました。再非行で逮捕されその後の経過も判らない少年、きつちりと約束を守り、期間満了を待たずに解除となった少年など、この記事を書いていると記憶が蘇ってきます。妻には、「約束を守れない子は当たり前で、きちんと守られる子は非行に至らないの」と諭されます。対象者と一生懸命向き合っていて、相変わらず仕事をもちながらの保護司稼業ですが、これからも自分の持ち味で職務を遂行したいと思っています。



矯正展へ出店して

茨木BBS会会長 山脇亜香利

BBS会とは、社会に生きづらさを感じている少年少女、主に非行少年を、兄や姉のような存在として支えることを目的としたボランティア団体です。茨木BBS会はその地区会となっております。会員のほとんどが学生で構成されています。茨木地区は主に追手門学院大学、梅花女子大学、立命館大学の学生が構成員の中心となっております。

矯正展は新型コロナウイルスの影響により中止が続き久しぶりの実施となりました。現在所属している会員で前回の矯正展に参加した会員がほとんど居らず、私自身も参加したことがなかったため、どのような雰囲気なのか分からないまま当日を迎えましたが、想像以上に来場者が多く、私たち茨木BBS会の間違ひ探しブースにも西口合わせて約100名の方が立ち寄りくださいました。



の方が全ての難易度に挑戦してください。初級・中級はスラスラ間違ひを見つけれられていましたが、上級に中々時間がかかり最初親御さんが見守るだけだったのが最後は家族総出で取り組み間違ひを探されているのが印象に残っています。上級問題が印刷ミスで少し絵にズレがあり、これも間違ひしている」と指摘してくれる子どもさんが多く、真剣に取り組んでくださったのがとても嬉しかったです。

今回茨木BBS会の支援年齢と比べ低い年齢層のお子さんがほとんどでしたが、地域の方たちと関わることが、今後の非行予防になれば嬉しいと思いました。

更生保護団体へ助成金を贈呈いたしました

令和5年1月13日(金)に開催された茨木地区保護司会新年定例会におきまして、掛谷会長より更生保護関係団体に助成金を贈呈させて頂きました。

今年も、新型コロナウイルスの感染予防に留意し、保護司会新年定例会の場をお借りすることになりました。

助成金を贈呈したのは、茨木地区の「保護司会」「更生保護女性会」「BBS会」「更生保護協力雇用主会」の4つの団体です。

各団体とも、それぞれの立場で立ち直り支援・更生保護活動を進める上で重要な役割を担って頂いております。

最近、またSNSを使った犯罪が連日報道されています。コミュニケーションサイトを通じて、昨日まで他人だった人間と知り合い「簡単に高額な報酬」を条件に知らぬ間に犯罪に加担してしまったり、殺人をほう助してしまうといったケースが多々見受けられます。

様々な情報が簡単に手に入る便利さとは裏腹にそういった危険性も含まれているという事は皆さんも既に十分御承知かと



茨木地区保護司会 中村副会長



茨木地区更生保護女性会 西島会長



茨木地区更生保護協力雇用主会 吉岡会長



茨木BBS会 米川顧問